



株主の皆様へ

第150期

中間報告書

平成25年4月1日から

平成25年9月30日まで

証券コード4613

関西ペイント株式会社

顧客満足度の高い製品及びサービスによって より豊かな社会の実現に貢献します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの当社グループの事業概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期における世界経済は、欧州経済の停滞が続くものの、新興国経済は鈍化するもなお拡大が続き、アメリカ経済の緩やかな回復もあり、弱いながらも回復基調が続きました。一方、インドやインドネシア等では、通貨安の影響により景気減速懸念が強まる状況となりました。わが国経済は、円高是正や金融・経済政策により企業収益が改善し、景気の本格的な回復へ向かうことが期待される状況となりました。

当社グループの連結業績につきましては、国内においては、期間前半にエコカー補助金制度終了等による自動車生産の低迷の影響などを受けましたが、後半にかけ、回復基調で

推移しました。海外においては、インドは、経済成長に鈍化の動きがみられたものの、依然として塗料需要の拡大は続き、タイ、インドネシアも、自動車生産の拡大により業績が拡大しました。中国は、日中関係



代表取締役社長
石野 博

悪化の影響により落ち込んだ自動車生産が徐々に回復し、期間後半には、昨年同水準程度まで持ち直してまいりました。アフリカは、欧州経済停滞の影響を受け、需要は伸び悩みましたものの、売上は緩やかに伸長いたしました。このほか、固定資産売却益を計上いたしました。

これらの結果、当中間期の連結業績は、売上高1,547億58百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は137億64百万円(前年同期比15.6%増)、経常利益は169億26百万円(前年同期比26.8%増)、四半期純利益は113億39百万円(前年同期比40.6%増)となりました。

中間配当金につきましては、1株につき7円とすることに決定させていただきました。

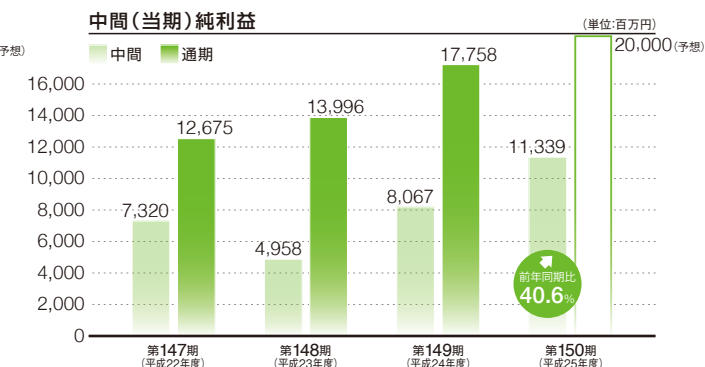
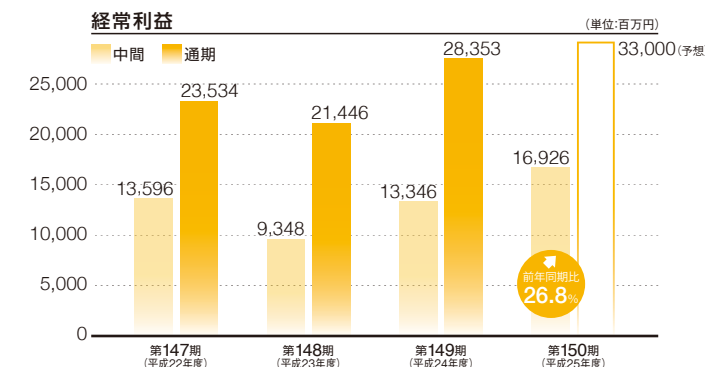
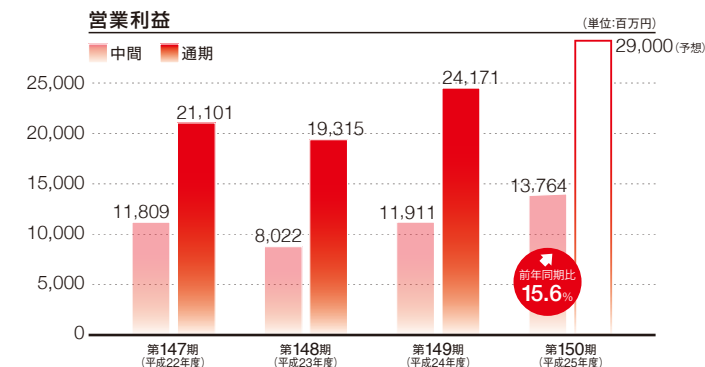
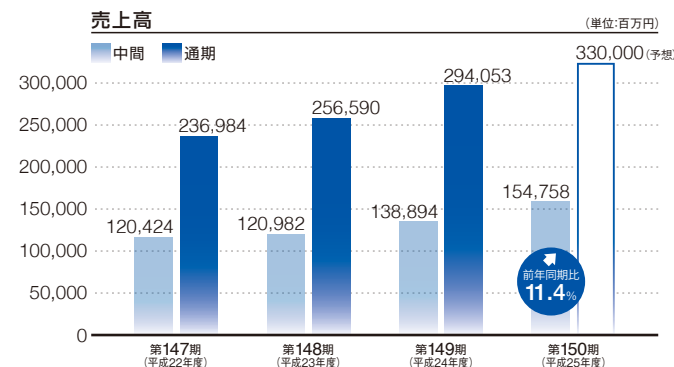
今後の世界経済の見通しは、先進国経済は緩やかに回復し、新興国経済も、引き続き、成長が続くものと思われま。わが国においては、金融政策や経済政策による効果などにより、デフレ脱却し、本格的な景気回復が期待される一方、原材料価格の高騰が企業収益を圧迫することが懸念されます。

このような情勢のなか、当社グループは、平成25年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画の重点方針である「グローバル化の加速」、「収益力の向上」及び「グループ経営基盤の強化」を柱として、業績のさらなる向上に向け、事業活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■業績の推移(連結ベース)

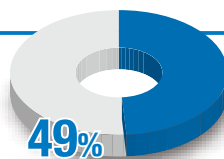
	第147期(平成22年度)		第148期(平成23年度)		第149期(平成24年度)		第150期(平成25年度)	
	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期	通 期(予想)
売上高(百万円)	120,424	236,984	120,982	256,590	138,894	294,053	154,758	330,000
営業利益(百万円)	11,809	21,101	8,022	19,315	11,911	24,171	13,764	29,000
経常利益(百万円)	13,596	23,534	9,348	21,446	13,346	28,353	16,926	33,000
中間(当期)純利益(百万円)	7,320	12,675	4,958	13,996	8,067	17,758	11,339	20,000
配当金(円)	5	5	5	5	6	6	7	7



日本 Japan

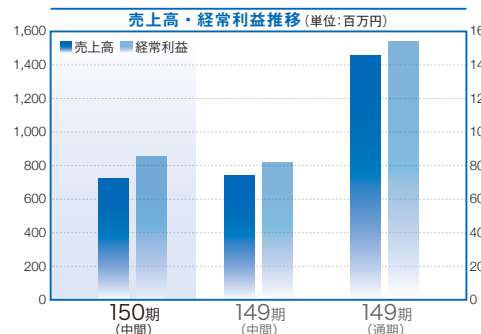
売上高

755億35百万円 (前年同期比0.5%減)



自動車新車用分野では、期間前半は、エコカー補助金制度の終了等の影響による自動車生産台数の減少もあり、売上は減少いたしました。期間後半は回復基調で推移しました。工業分野では、自動車部品用及び産業機械の需要落込みもありましたが、その他工業用の需要回復もあり、売上は僅かながら伸長いたしました。建築分野では、戸建・マンション改修工事全般で、消費税増税を見越した駆け込み需要に加え、新製品の拡販につとめたことにより、防食分野では、公共事業の発注増加による橋梁塗替用塗料の需要増加もあり、売上は僅かながら伸長いたしました。自動車補修用分野及び船舶分野では、市況の低迷の影響を受けました。また、原材料価格は依然として高水準で推移いたしました。このような状況のなか、引き続きトータルコスト低減への取り組みを推進いたしました。

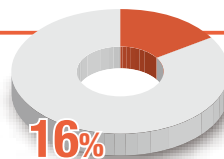
これらの結果、当セグメントの売上高は755億35百万円(前年同期比0.5%減)、経常利益は85億4百万円(前年同期比2.9%増)となりました。



インド India

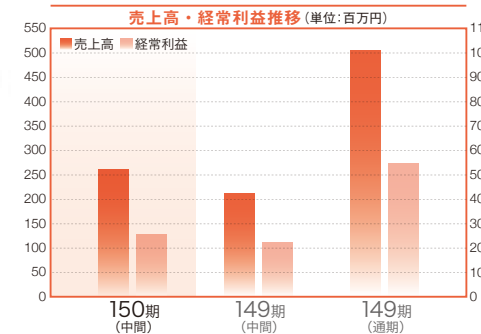
売上高

251億43百万円 (前年同期比20.9%増)



自動車分野では、自動車の販売台数が減少したものの、主要顧客の生産回復及び売上価格の是正もあり、売上は伸長いたしました。建築分野においても、国内経済成長に鈍化の動きがみられましたが、依然として需要拡大が続き、業績が伸長いたしました。

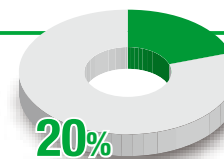
これらの結果、当セグメントの売上高は251億43百万円(前年同期比20.9%増)、経常利益は26億52百万円(前年同期比17.3%増)となりました。



アジア Asia

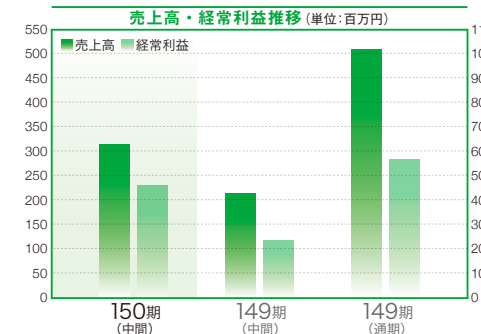
売上高

302億50百万円 (前年同期比40.6%増)



タイにおいては、新車購入支援策が終了したものの、売上の伸長が続き、インドネシアにおいても、内需が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。中国においては、日中関係悪化の影響を受けていた主要顧客向け需要減少も、期間後半に昨年並みの水準まで回復してきたことに加え、為替換算の影響もあり、業績は拡大いたしました。このほか、平成24年4月に連結子会社化したインドネシアの、PT.KANSAI PRAKARSA COATINGSの業績が、連結業績に寄与いたしました。一方、同社の株式取得に伴い発生したのれんの償却を計上いたしました。

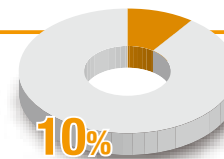
これらの結果、当セグメントの売上高は302億50百万円(前年同期比40.6%増)、経常利益は46億51百万円(前年同期比101.5%増)となりました。



アフリカ Africa

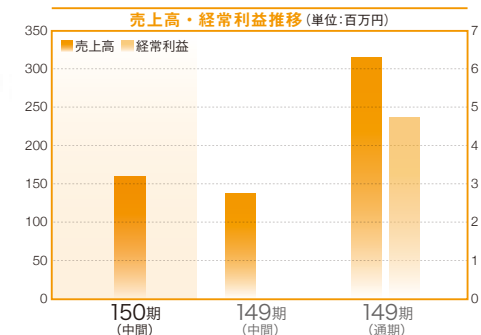
売上高

155億78百万円 (前年同期比11.6%増)



欧州債務危機の影響により、国内経済成長の伸び悩みが続いたものの、売上は緩やかに伸長し、原材料価格の高騰等の影響もありましたが、収益は向上いたしました。一方、KANSAI PLASCON AFRICA LTD.の株式取得に伴い発生したのれんの償却を計上いたしました。

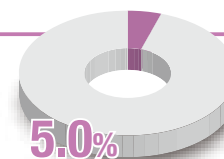
これらの結果、当セグメントの売上高は155億78百万円(前年同期比11.6%増)、経常利益は1億20百万円(前年同期比 - %)となりました。



その他 Ather

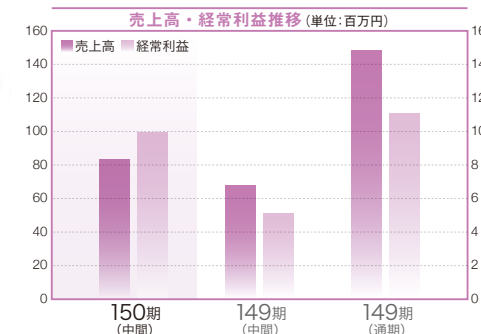
売上高

82億50百万円 (前年同期比22.9%増)



欧州債務危機の影響により、トルコにおいても経済成長に減速がみられたものの、特に工業分野の売上が伸長いたしました。また、北米における自動車販売の増加に伴う、持分法による投資利益の増加が増益に寄与いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は82億50百万円(前年同期比22.9%増)、経常利益は9億97百万円(前年同期比93.8%増)となりました。



☆当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成され、「日本」、「インド」、「アジア」及び「アフリカ」の4つを報告セグメントとしています。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国・欧州等の現地法人の事業活動を含んでいます。

■中間連結貸借対照表 [平成25年9月30日現在]

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	187,425	流動負債	89,729
現金及び預金	54,333	支払手形及び買掛金	52,030
受取手形及び売掛金	85,073	短期借入金	7,361
たな卸資産	40,190	関係会社短期借入金	2,580
その他	8,866	未払法人税等	5,984
貸倒引当金	△ 1,039	賞与引当金	3,970
		その他	17,803
固定資産	193,705	固定負債	46,821
有形固定資産	84,372	社債	15,000
無形固定資産	27,660	退職給付引当金	7,474
のれん	13,822	その他	24,346
その他	13,837		
投資その他の資産	81,672	負債合計	136,551
投資有価証券	66,446		
その他	17,170		
貸倒引当金	△ 1,944		
資産合計	381,130	純資産の部	
		株主資本	200,470
		資本金	25,658
		資本剰余金	27,154
		利益剰余金	152,542
		自己株式	△ 4,884
		その他の包括利益累計額	15,189
		その他有価証券評価差額金	23,674
		為替換算調整勘定	△ 8,485
		少数株主持分	28,918
		純資産合計	244,579
		負債純資産合計	381,130

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結損益計算書 [平成25年4月1日から平成25年9月30日まで]

(単位:百万円)

売上高	154,758
売上原価	107,826
売上総利益	46,932
販売費及び一般管理費	33,167
営業利益	13,764
営業外収益	3,849
営業外費用	687
経常利益	16,926
特別利益	4,386
特別損失	750
税金等調整前中間純利益	20,562
法人税等	7,206
少数株主損益調整前中間純利益	13,355
少数株主利益	2,016
中間純利益	11,339

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

[平成25年4月1日から平成25年9月30日まで] (単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	9,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,145
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,103
現金及び現金同等物の期首残高	52,512
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,410

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

お近くへお立ち寄りの際はぜひご覧ください!



◀JR宇都宮駅外壁及びホーム改修工事
(栃木県宇都宮市)

外壁部：アレス水性エポレジン+アレスアクアシリコンACII 5分ツヤ
ホーム柱：ザウルスEXII+カンペ1液Mレタン
ホーム壁：アレスホルダーZ+カンペ1液Mレタン
外部エレベータ：スーパーザウルス+ムキフツ中塗+ムキフツ

宇都宮市の中心ターミナルJR宇都宮駅の外壁と、世界遺産のある日光の玄関口とも言える、日光線ホームの壁と柱の塗り替えがこのたび実施されました。

駅は多くのお客様が利用することから、工事中の臭気を考慮し、下塗には水性で臭気の少ない、アレス水性エポレジンが施工されました。また、上塗には、一般的な5分ツヤ仕上げよりも、より高い耐候性を有するアレスアクアシリコンACII5分ツヤが採用され、施工様より高いご評価をいただきました。

また日光線ホームは日光のイメージ・景観色を意識し、当社デザインCG部にて色彩設計をいたしました。周囲の環境と調和しながらも、末永く美観を保つことにお役に立てるものと考えています。



ホテルモンテ沖縄タイガービーチリゾート(沖縄県国頭郡)▶

外壁部：エコカチオンシーラー+アレスゴムマイルニューラフ+アレスアクアセラシリコン

タイガービーチは沖縄県国頭郡恩納村(沖縄本島中部)に位置する、白い砂浜と透き通るような海に彩られた天然ビーチです。この素晴らしいビーチリゾートを眼前にして立つホテルの外壁に、当社塗料が採用されました。沖縄特有の澄んだ蒼い海と、高く抜けるような青い空の間に「白亜」と呼ぶのがふさわしい白が入り込むことで、さわやかで開放感のあるコントラストが形成されました。

アレスアクアセラシリコンは、耐汚染性と耐候性に優れ、沖縄の強い紫外線の下でも、美観を長く保つことができます。

訪れるお客様の思い出の中に、白と青の残像が刻み込まれれば、望外の喜びだと思っております。



『カンペ1液MレタンHG』新発売

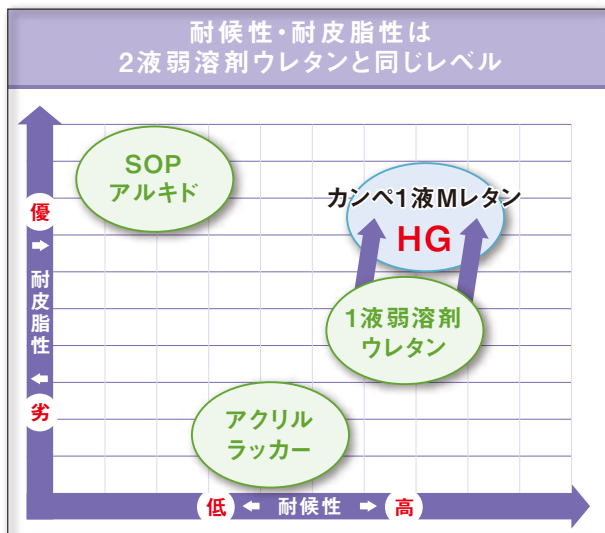
<http://www.kansai.co.jp/products/catalog/pdf/713.pdf>

当社では、従来の1液形特殊ウレタン樹脂塗料から大幅に性能を向上させた「カンペ1液MレタンHG」を、関西ペイント販売株式会社を通じて、全国で販売を開始することになりました。

現行の「カンペ1液Mレタン」は、用途が広く耐候性が優れる上、2液タイプのように残った材料が無駄にならないため、その市場を拡大させています。ところが、人間の皮脂に対する耐性(耐皮脂性)がやや劣る傾向があり、手摺など手が頻繁に触れる部分では、塗膜が軟化することもあります。

そこで「カンペ1液MレタンHG」は、新開発の疎皮脂性ウレタン樹脂により、1液タイプでありながら、耐皮脂性を2液形特殊ウレタン樹脂塗料と同等レベルまで向上させることに成功しました。また、耐候性も2液タイプと同じレベルまで高めたため、2液ウレタン樹脂塗料と同じ用途にも安心してお使いいただけるようになっています。

当社グループでは、「カンペ1液MレタンHG」を次世代のウレタン樹脂塗料と位置付け、更に耐皮脂性能を向上させる専用添加剤や、現場で光沢を調整可能なつや調整剤など、周辺製品を充実させ、主力ブランドに育ててまいります。



塗り替えで愛犬と共に暮らす環境を快適に!

当社では、住宅塗替の市場において、愛犬家をターゲットとした取り組みを始めました。愛犬家は近年増加傾向にあり、「愛犬」＝「家族の一員」という考え方が定着する中で、大切な家族の一員である愛犬と一緒に暮らす住宅が楽しく豊かになるための潜在ニーズは大きいものと考えています。「アレスシックイ」や「アレスクール」による室内環境改善が、愛犬との暮らしを更に楽しく快適にできるよう、お役に立ちたいと考えています。



子育て環境も応援します!

当社は今年、全国各地で開催された様々な消費者イベントに出展いたしました。なかでも、「アレスシックイ」を、お子様をお持ちの親御様にPRいたしました。消臭や抗菌にすぐれた「アレスシックイ」は、育ち盛りのお子様をお持ちのご家庭にとり、快適な住環境づくりの一助となることでしょう。

ジンバブエでの塗料事業会社の株式取得について

<http://www.kansai.co.jp/new/press14/20130729.pdf>

当社の子会社Kansai Plascon Africa(南アフリカ共和国、以下KPAL社)は、ジンバブエ共和国のAstra Industries Limited(以下、AIL社)の株式を取得し、子会社(当社の孫会社)といたしましたのでお知らせいたします。

当社はグローバル化の加速を中期経営計画重点方針に掲げ事業活動展開しております。そのなかで、アフリカは今後、飛躍的な成長が期待される市場と考えております。AIL社は、ジンバブエ共和国において

塗料の製造・販売を行っており、同国においてトップシェアを有しております。今回のKPAL社によるAIL社の株式取得は、両社のブランドや製品等を相互に有効活用することにより、ジンバブエ共和国の近隣諸国へ展開も含め、アフリカ市場の塗料需要拡大にスピーディかつ的確に対応し、更なる事業拡大を実現し、当社の中長期的な業績拡大に大きく寄与するものと考えております。

ご自宅の塗替は
関西ペイントにおまかせください

ご自宅の塗替をご検討の方、信頼と安心をお届けする当社にて、ご相談を承ります。皆様のお役に立てますことを、心よりお待ちしております。以下の<関西ペイント販売株式会社>各窓口までご用命ください。

東京 TEL(03)5711-8904 大阪 TEL(06)6203-7968

☆☆☆塗料(Re:paint)に関する情報は、当社ホームページからご覧いただけます。



入力画面



入力後の画面

■会社概要

創 立 大正7年(1918年)5月17日
 資 本 金 25,658百万円
 主 要 な 事業内容 塗料及び塗料関連製品とこれらに関する機器
 装置類の製造、販売、設計及び塗装の監理等
 従業員数 1,597名 (従業員数は就業人員であり、当社外
 への出向者を含んでおりません。)

■主要な事業所

本 店 兵庫県尼崎市神崎町33番1号
 TEL(06)6499-4861
 本社事務所 大阪府大阪市中央区今橋二丁目6番14号
 TEL(06)6203-5531
 事業所 鹿沼、東京、平塚、名古屋、尼崎、小野、北九州
 開発センター 平塚

■役員及び執行役員 (平成25年6月27日現在)

取締役	
代表取締役社長 石野 博	取締役 常務執行役員 高橋 良多
代表取締役 専務執行役員 福田 光博	取締役 常務執行役員 神門 孝司
取締役 常務執行役員 太田 正信	取締役 常務執行役員 古川 秀範
取締役 常務執行役員 毛利 訓士	取締役(社外取締役) 中原 茂明
取締役 常務執行役員 田中 優	

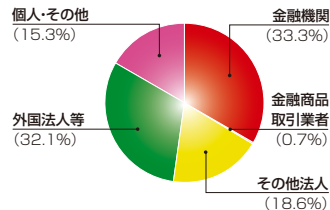
執行役員	
常務執行役員 近藤 明文	執行役員 浅妻 慎司
執行役員 長尾 博樹	執行役員 宮武 啓次
執行役員 青柳 彰	執行役員 寺岡 直人
執行役員 妹尾 潤	執行役員 堀 圭吾
執行役員 山内 明彦	執行役員 中尾 泰志
執行役員 吉田 一博	執行役員 中村 美博
執行役員 原川 浩美	執行役員 森本 隆司
執行役員 中野 佳成	

監査役	
常勤監査役 諏訪 博	監査役(社外監査役) 今村 峰夫
常勤監査役 前川 浩二	監査役(社外監査役) 宮崎 陽子

■株式の状況

発行可能株式総数 793,496,000株
 発行済株式の総数 272,623,270株
 株主数 15,106名

■所有者別株式分布状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	12,617	4.71
第一生命保険株式会社	12,485	4.66
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,998	3.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,837	3.67
トヨタ自動車株式会社	8,355	3.12
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	8,138	3.04
関西ペイント交友持株会	7,785	2.91
ジェービーモルガンチェースバンク385174	7,708	2.88
大同生命保険株式会社	7,607	2.84
東京海上日動火災保険株式会社	6,892	2.57

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
 2.持株比率は、自己株式(5,267,496株)を控除して算出しております。

■株価(終値平均)及び株式売買高の推移



(注) 株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 3月31日
 剰余金の配当 期末 3月31日
 中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 0120-094-777(通話料無料)
 平日9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により
 電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 公告掲載URL(<http://www.kansai.co.jp/>)

上場証券取引所 東京・大阪

ご注意

- 株主様の住所変更、その他の各種お手続きにつきましては、株主様の口座のある証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金のお支払いにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

中間配当金のお支払いについて

第150期中間配当金は平成25年12月3日からお支払いいたしますので、同封の「中間配当金領収証」により、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局でお受け取り下さい。なお、銀行口座へ振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」を同封いたしましたので、お確かめください。なお、同封の「中間配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告を行う際は、本計算書をその添付書類としてご使用頂けます。

単元未満株式の買取請求又は買増請求について

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有されている株主様は、これの買取請求(ご売却)又は単元株式までの不足分の買増請求(ご購入)により、単元未満株式を整理することができます。詳細は、株主様の口座のある証券会社にお問合せください。なお、特別口座に登録された株式につきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

ホームページの投資家情報 (IR情報) をご覧ください



ここをクリック！

各種資料を御覧頂けます



関西ペイント株式会社

<http://www.kansai.co.jp/>